



2023年5月25日
武田薬品工業株式会社
オリックス環境株式会社
日本貨物鉄道株式会社

武田薬品、オリックス環境、JR 貨物が環境負荷低減に向けて連携

国内初の廃棄物処理委託による PTP 包装廃材の再生利用、および CO2 排出の少ない輸送手段への切り替え

武田薬品工業株式会社(本社:大阪、代表取締役社長兼 CEO:クリストフ・ウェバー、以下「武田薬品」)、オリックス環境株式会社(本社:東京、取締役社長:山下 英峰、以下「オリックス環境」)、日本貨物鉄道株式会社(本社:東京、代表取締役社長兼社長執行役員:犬飼 新、以下「JR 貨物」)は、武田薬品が製造する医療用医薬品の製造過程で生じる PTP^{*1} 包装廃材のリサイクルとその輸送における、環境負荷低減に取り組むための企業間連携を進めることについてお知らせします。

1. ポイント

- 武田薬品が、製薬企業として国内で初めて廃棄物処理委託による PTP 包装廃材の再生利用、および輸送手段のモーダルシフトに取り組む。
- オリックス環境が、国内で初めて PTP 包装廃材などの剥離に伴う産業廃棄物処分業の許可を取得し、武田薬品の PTP 包装廃材を再生利用する。
- JR貨物が、PTP 包装廃材の輸送において、CO2 排出量がトラック輸送よりも少ない貨物鉄道輸送サービスを提供する。

2. 概要

今回の連携を受け、3社は、以下の取り組みを2023年6月1日より開始します。

武田薬品は、産業廃棄物処分業許可を有するオリックス環境に委託し、廃棄物処理委託による PTP 包装廃材の再生利用(マテリアルリサイクル)を、製薬企業として国内で初めて^{*2}開始します。武田薬品の光工場から排出される年間約 101 トンの PTP 包装廃材のうち約 95%にあたる約 96 トンを再生利用する予定です^{*3}。武田薬品はこれまで、自社工場から排出される産業廃棄物の処理を外部委託する PTP 包装廃材は、焼却のうえ、焼却時の熱エネルギーの回収および残渣の再利用をするサーマルリカバリーを行ってきました。今後は、PTP 包装廃材のプラスチックとアルミニウムという異なる材質を完全剥離することで、アルミニウム、プラスチックとして

の再生利用を進めていきます。

オリックス環境は、2023年1月～3月の期間、剥離設備を使って武田薬品の PTP 包装廃材の実証実験を実施しました。その結果、プラスチックとアルミニウムを完全に剥離^{※4}し、再生利用が可能であることを実証しました。2023年5月11日には国内で初めて PTP 包装廃材などの剥離に伴う産業廃棄物処分業の許可を取得^{※5}しています。

JR 貨物は、環境負荷の小さい貨物鉄道輸送サービスを提供します。PTP 包装廃材について、これまでのトラック輸送に替えて、武田薬品の光工場(山口県光市)からオリックス環境の産業廃棄物処理工場(千葉県船橋市)への輸送の大部分で JR 貨物による輸送への切り替え(モーダルシフト)^{※6}を行い、CO2 排出量の削減に努めます。具体的には、武田薬品光工場 PTP 包装廃材を JR12ft コンテナに積載して、新南陽駅(山口県周南市)から隅田川駅(東京都荒川区)まで貨物鉄道輸送を行います。

3. 各社のコメント

武田薬品のグローバル マニュファクチャリング & サプライジャパン ヘッドのグレッグ・ティモンズは、「当社は、私たちが目指す未来(ビジョン)に向けた約束の一つとして、『いのちを育む地球のために、自然環境の保全に寄与する』ことを掲げています。この度の、オリックス環境および JR 貨物との企業間連携に合意できたことを嬉しく思うとともに、今後も製造活動において環境負荷低減を目指した取り組みを進め、当社のサステナビリティコミットメントの実現を目指します」と述べています。

オリックス環境の取締役社長の山下 英峰は、「当社は、全国で 1,000 社を超える廃棄物事業者との提携ネットワークを活用し、お客さまにリユース・リサイクル・適正処理におけるソリューションを幅広く提供しています。この度、武田薬品および JR 貨物と、画期的な再生利用を推進できることを喜ばしく思います。今後も、お客さまへの最適なソリューションの提供を通じて、持続可能な循環型社会の実現に貢献していきたいと考えています」と述べています。

JR貨物の執行役員鉄道ロジスティクス本部副本部長営業部長の和氣総一郎は、「当社は、環境負荷が最も小さい輸送機関である特性を活かし、お客様や物流事業者の方々と協働してグリーン社会の実現に取り組んでいます。この度 PTP 包装廃材を武田薬品およびオリックス環境と連携して輸送することで、循環型社会の形成に貢献できることを光栄に思います。当社は引き続き「環境先進企業」を目指してまいります」と述べています。

武田薬品、オリックス環境、JR 貨物は、再生利用およびより CO2 排出の少ない輸送手段への切り替えにより、循環型社会への貢献に加えて、CO2 排出量の削減も目指す、包括的な取り組みを進めてまいります。

※¹ Press-Through Package。海外では Blister Packaging。プラスチックシートにアルミを張り付けた 1 枚のシートの中に、錠剤やカプセルを閉じ込めた包装シートのこと

※² 5 月 25 日武田薬品調べ

※³ 昨年実績に基づく算出

※⁴ プラスチックの複合材を使用している PTP 包装廃材を除く

※⁵ 5 月 25 日オリックス環境調べ

※⁶ トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。輸送分野の CO₂ 排出を大幅に削減できる。

<報道関係問合せ先>

武田薬品工業株式会社

グローバル マニュファクチャリング & サプライ コミュニケーション部

飯山 久美

080-5789-7742

オリックス株式会社

グループ広報・渉外部

井上・逸見

03-3475-3802

日本貨物鉄道株式会社

総務部 広報室

050-2017-4088